

2021年度中間決算概要

株式会社東邦銀行

1. 経営成績（損益の状況）【連結】

- (1) 経常収益は、有価証券利息配当金の増加およびコンサルティング営業強化による役務取引等収益の増加などにより、前年同期比8億47百万円増加の299億7百万円となりました。
- (2) 経常費用は、与信関係費用の減少などから、前年同期比23億14百万円減少し245億50百万円となりました。
- (3) 経常利益は、前年同期比31億61百万円増加の53億57百万円となりました。
- (4) 親会社株主に帰属する中間純利益は、経常利益の増加に伴い前年同期比27億97百万円増加し37億15百万円となりました。

【連結】

(単位：百万円)

	2020年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	29,060	29,907	+847
経常利益	2,195	5,357	+3,161
親会社株主に帰属する中間純利益	917	3,715	+2,797

【銀行単体】

(単位：百万円)

	2020年9月期 (A)	2021年9月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	25,348	25,893	+545
経常利益	1,802	4,809	+3,007
中間純利益	790	3,547	+2,756

2. 主要勘定の業績【銀行単体】（末残ベース）

- (1) 総預金（譲渡性預金含む）
個人預金・法人預金が引続き順調に推移し、前年同期比689億円増加し6兆52億円となりました。
- (2) 貸出金（含む私募債）
コロナ禍の影響を受けたお客さまへ積極的な経営支援に取り組みましたが、新型コロナ対策資金の一巡等による事業性貸出の減少や公共貸出の減少を主因に、前年同期比2,657億円減少し3兆8,029億円となりました。
- (3) 有価証券
金融市場の変動に耐えうる安定的な収益確保のため、有価証券のポートフォリオ再構築に取り組んだ結果、期末残高は前年同期比477億円増加し4,388億円となりました。

【主要勘定の業績】

(単位：億円)

	2020/9末	2021/3末	2021/9末	2020/9末増減(率)	2021/3末増減(率)
総預金 (譲渡性預金含む)	59,363	61,395	60,052	+689 (+1.2)	△ 1,343 (△2.2)
うち個人預金	33,910	34,806	35,479	+1,569	+672
うち法人預金	13,858	14,113	14,277	+418	+163
うち公金預金等	11,594	12,475	10,295	△ 1,298	△ 2,179
貸出金 (含む私募債)	40,686	38,645	38,029	△ 2,657 (△6.5)	△ 616 (△1.6)
私募債	772	750	694	△ 77	△ 56
個人向けローン	8,119	8,206	8,293	+173	+86
うち住宅ローン	7,535	7,635	7,747	+211	+111
有価証券	3,911	4,953	4,388	+477 (+12.2)	△ 565 (△11.4)

3. 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は単体で9.13%、連結で9.59%と引続き十分な水準を維持しております。

【銀行単体】

（単位：億円）

	2020/9末	2021/3末	2021/9末	2020/9末増減(率)	2021/3末増減(率)
自己資本比率	8.95%	8.85%	9.13%	+0.18%	+0.28%
自己資本	1,822	1,759	1,781	△ 41	+21
リスクアセット等	20,355	19,870	19,505	△ 849	△ 365

【連結】

（単位：億円）

	2020/9末	2021/3末	2021/9末	2020/9末増減(率)	2021/3末増減(率)
自己資本比率	9.22%	9.28%	9.59%	+0.36%	+0.31%
自己資本	1,886	1,851	1,878	△ 8	+26
リスクアセット等	20,439	19,942	19,570	△ 869	△ 371

4. 金融再生法開示債権（正常債権除く）【銀行単体】

総与信に対する比率は1.28%と引続き極めて低い水準になっております。

【金融再生法開示債権（正常債権除く）】

（単位：億円）

	2020/9末	2021/3末	2021/9末	2020/9末増減(率)	2021/3末増減(率)
金融再生法開示債権	353	445	490	+136	+45
破産更生債権等	141	150	182	+40	+32
危険債権	159	261	249	+89	△ 12
要管理債権	51	33	58	+6	+25
総与信比	0.86%	1.14%	1.28%	+0.41%	+0.13%

5. 2021年度通期業績予想

2021年度通期の連結ベースでの業績見通しにつきましては、当中間期の業績等を踏まえ、下記のとおり上方修正し、経常収益593億円、経常利益95億円、親会社株主に帰属する当期純利益65億円を見込んでおります。

銀行単体の業績見通しにつきましても上方修正し、経常収益506億円、経常利益84億円、当期純利益60億円を見込んでおります。

【業績予想（連結）】

（単位：百万円）

	2020年度 実績 (A)	2021年度 業績予想 (B)	増減 (B - A)
経常収益	58,275	59,300	+1,024
経常利益 (△は経常損失)	△ 4,087	9,500	+13,587
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は親会社株主に帰属する当期純損失)	△ 4,664	6,500	+11,164

【業績予想（銀行単体）】

（単位：百万円）

	2020年度 実績 (A)	2021年度 業績予想 (B)	増減 (B - A)
経常収益	49,969	50,600	+630
経常利益 (△は経常損失)	△ 5,602	8,400	+14,002
当期純利益 (△は当期純損失)	△ 5,531	6,000	+11,531

以上